

音水国有林植物採集記

稲 田 又 男

期 日 昭和40年8月20～22日

指 導 京都大学 理学博士 田川基二先生

” 理学博士 岩槻邦男先生

第1日(8月20日)

姫路駅前9時集合で、時間厳守との通知をお世話下さっている藤本義昭先生よりいただいたので、神崎郡の山奥から馳せ参じたところ、9時10分前で既に当採集会の指導者田川、岩槻の両先生、竹の室井博士、貝の古川先生、大阪から参加のコケの中島先生、その他顔見知りの先生方がずらり、貸切バスで出発を待つばかりであった。妙法寺小学校の谷口先生は自家用車で、採集物をどっさり運搬しようとの意気込で待期しておられる。頌栄短大の学生1人を最後に9時5分出発、姫路を後に国道を西へ、青山の夢前川を渡り国道29号線を北へ進む。舗装道路でバスの乗心地は上々、10時前には山崎に到着、山崎で約15分休憩、ここより参加されるコケの建部先生を待ったが、姿が見えないので10時5分目的の音水に向って出発、一宮の伊和神社を左に見て、三方と別れている曲里を過ぎたところから道路も悪くなり、原を過ぎれば道路工事中で路はいよいよ悪くなりバスも右、左に大きくゆれ、国道建設工事の真最中である。いよいよ目的の音水に入る道路脇に到着、宿舎である民家に着いた。予定より早く11時を過ぎたばかりである。民家2軒に分宿のため、荷物を整理して昼食、早速宿舎の便所の屋根に着生しているオシャグジデングダを見つけて数人が採集している。さすがに音水だけあってオシャグジデングダがこんな手近かな所で採集できるのには驚いた。13時前採集用具を身につけて、本日の採集予定地中音水に向って出発、営林署の林用軌道にそって中音水に入る。先ず葉柄が黒紫色の美しいクジャクシダが見つかる。日蔭のない林用軌道を進むので暑くて採集する元気もない。しかし外の人達はなかなか元気で採集に夢中になっている。途中から下の谷川へ降り休憩、帰りは谷川沿いの道を歩いて赤西へ入る林用軌道に下りて帰る。音水営林署に近くなったところでアカメイノド、タニヌワラビ、ヒロハヤブソテツ、コタニワタリなどを採る。宿舎に16時頃帰着、もう既に宿舎の前では本日の採集物の整理で皆忙しい。整理の終わった人から入浴、大体整理の終わった頃、山崎から参加のはずであった建部先生が来られる。山崎では待ちぼうけになったとか。

夕食後自己紹介、先ず田川先生から、先生は昭和23年に音水へ採集に来た時の思い出話、室井先生は17、8才頃建部先生と一緒に音水へ採集に来て苦労した話、今回のお世話を願っている藤本先生は音水に魅せられて毎年音水に来ているという話、参加者皆それぞれに楽しい自己紹介があり、筆者もこの音水へは田川先生のお供をして、中音水でクラガリシダを倒木に見つけて採ったこと、藤本先生の獲ったマムシを焼いて食べた事など楽しい思い出が残っている。明日の天候と採集に恵まれんことを祈りつつ眠りに就く。

第2日(8月21日)

6時起床、さすがにここ音水は涼しい。川で顔を洗って、宿舎のオシャグジデングダ健在かと便所の屋根をのぞいてみたら、沢山あったのに量は昨日の半分以下になっている。6時半朝食、七つ道具を身につけ7時過ぎ奥音水に向って出発、溪谷に沿って進む、早速ヤマソテツの群落が我々を迎えてくれる。葉柄に特異な鱗片を持つワイタチシダが岩に着生している。ウスヒメワラビ、ピロウシダ等県下でのシダ一級品がここでは苦労なく採集出来る。溪谷の岩の多い処で休憩。道から離れた溪谷の少し奥でヒメサジランを岩槻先生が採られる。ミヤマベニシダの大群落もある。休憩した場所には昨年採ったヤシヤゼンマイが誰れかに採られてしまったのか今年は見当らない。

この溪にはヒロハヤブソテツやコタニワタリが沢山あったのに大量採集者が来るのか量が少なくなったように思う。ミヤコイヌワラビがこのあたりに多い。葉柄が紫紅色にならないダンドイヌワラビも混生している。関東ではミヤコイヌワラビよりもダンドイヌワラビの方が多いとか建部先生より聞く。休憩しているところへ自家用車で本日かけつけたという藤岡先生、杉本さんが追いつかれる。さらに奥へ進む、岩壁にツルデングダ、コウヤコケシノブ、ヒメハイホラゴケが沢山附着している。下にはイワハリガネワラビがあり、昨年採れなかったイワヤシダを内藤先生が採られた。サジランも昨年採れたのに、今年は見付からないと思っていたところ、誰れかが採ったと田川先生から聞いた。奥の溪谷で昼食をする。採集物が多いので整理をする。昼食場所より少し奥で珍品クラガリシダ、ホテイシダを採集された方から見せていただいた。昼食後溪谷の上の道を通って最初に休憩し

た場所へ下る。ここからは元の道を通って宿舎へ帰る。筆者が一番最後に帰ったが、昼食場所よりまだずっと奥へ入った岩谷さんなど3名程がまだ帰ってこない。整理が終わって入浴する頃になって岩谷さんなどの組が帰着、ホインダなどの珍品を見せつけられて残念だがしかたがない。夕食後、今夜は京大の学生安平君が尾瀬で撮ったカラースライドを長時間にわたって見せてもらう。特にニッコウキスゲの大群落の美しい姿が印象に残る。

第3日(8月22日)

6時起床、本日も天候に恵まれ快晴、朝食後荷物を整理して藤本先生のお世話で荷物は原まで小型トラックで運んでもらう。身軽になって赤西へ入る林用軌道に沿って歩く、ここも最初の日と同じく日蔭のない道で暑い。昭和23年に田川先生のお供をして歩いたときには壮大なオニヒカゲワラビを採り、建部先生が持って写真を撮ったのが思い出される。今年はそのオニヒカゲワラビが見られないのが残念。原に近くなったところでクサソテツを採る、クサソテツは観賞用として庭に植えるのもいいし、食用にしてもなかなか美味である。アメリカでは栽培して食用にしている処もあるとか。チャセンシダも採る。原から広い道路に出て不動の滝へ向う途中、民家のある日蔭で休憩、少し奥へ入ると不動滝登山口の道標のある細い道へ入り、溪谷を渉ると岩にフジシダとオオフ

ジシダがあり、ホソバイヌワラビ、コバノイシカグマなどを採り、ここにも岩にはイワイタチシダが附着している。不動の滝に着く、なかなか立派な滝だ、しかし長い間雨が降らなかったせいか、数年前訪れたときよりも水量が少ない。滝を見ながら休憩、下りに岩壁に附着しているスギランを内海先生が見付けられる。スギランは県下では最初の発見である。田川先生著「原色日本羊歯植物図鑑」には北海道(日高・渡島)・本州・四国・九州(屋久島が南限)に広く分布しているがまれであり、山林中の樹上、まれに岩上に生ずる、と記載されている。けだし今回の採集会での最後を飾るにふさわしい採集品であった。その他内海先生はイノデ類でドウリュウイノデ、アカメイノデ、オンガタイノデ、キヨズミイノデ等のイノデ類をここで採られた。

原まで引返し昼食をする。昼食後貸切バスで帰途につき、途中一宮町の有名な伊和神社に参拝、境内でナライシダを採る。14時前に姫路着、参加者一同3日間に亘る重い採集物を背負って散会、無事採集会を終了することが出来た。最後に、ご指導下さった田川、岩槻両博士ならびにこの採集会を種々お世話下さった藤本先生のなみなみならぬご苦勞に対し、紙上を以って厚くお礼申し上げます。

(当日採集のシダは次のものがありません。)

- | | | | |
|-----------------|--------------|--------------|--------------|
| 1. アカメイノデ | 23. キジノオシダ | 46. ゼンマイ | 69. フユノハナワラビ |
| 2. イノデ | 24. キョウタキシダ | 47. タチシノブ | 70. ベニシダ |
| 3. イノデモドキ | 25. クジャクシダ | 48. タニイヌワラビ | 71. ホソバイヌワラビ |
| 4. イヌガンソク | 26. クサソテツ | 49. ダンドイヌワラビ | 72. ホソバコケシノブ |
| 5. イヌシダ | 27. クマワラビ | 50. チャセンシダ | 73. ホソバトウゲシバ |
| 6. イヌワラビ | 28. クラガリシダ | 51. ツヤナシイノデ | 74. ホテイシダ |
| 7. イワイタチシダ | 29. ゲジゲジシダ | 52. ツルシノブ | 75. ホランシノブ |
| 8. イワガネゼンマイ | 30. コウヤコケシノブ | 53. ツルデンダ | 76. マメズダ |
| 9. イワガネソウ | 31. コシダ | 54. トラノオシダ | 77. ミサキカグマ |
| 10. イワトラノオ | 32. コタニワタリ | 55. ナツノハナワラビ | 78. ミゾシダ |
| 11. イワハリガネワラビ | 33. コハシゴシダ | 56. ナライシダ | 79. ミヤコイヌワラビ |
| 12. イワヤシダ | 34. コバノイシカグマ | 57. スリワラビ | 80. ミヤマイタチシダ |
| 13. ウスヒメワラビ | 35. サカゲイノデ | 58. ノキンノブ | 81. ミヤマシケシダ |
| 14. オオレンシダ | 36. サジラン | 59. ハリガネワラビ | 82. ミヤマノキンノブ |
| 15. オオキジノオ | 37. サトメシダ | 60. ヒカゲノカズラ | 83. ミヤマベニシダ |
| 16. オオクジャクシダ | 38. シケシダ | 61. ヒメサジラン | 84. ヤブソテツ |
| 17. オシヤクジデンダ | 39. シケチシダ | 62. ヒメノキンノブ | 85. ヤマイタチシダ |
| 18. オオハナワラビ | 40. シンガシラ | 63. ヒメハイホラゴケ | 86. ヤマイヌワラビ |
| 19. オオバノハチジョウシダ | 41. シノブ | 64. ヒメワラビ | 87. ヤマソテツ |
| 20. オシダ | 42. シノブカグマ | 65. ビロウドシダ | 88. ヤマヤブソテツ |
| 21. カニクサ | 43. ジュウモンシダ | 66. ヒロハイヌワラビ | 89. ヤワラシダ |
| 22. カラクサイヌワラビ | 44. スギナ | 67. ヒロハヤブソテツ | 90. リョウメンシダ |
| | 45. スギラン | 68. フジシダ | 91. ワラビ |